



佐竹 稔 議員

### 公共事業の円滑な推進と林産業の活性化を

#### 地籍調査について

**問** 地籍調査は、公共事業、災害復旧事業等を迅速かつ円滑に進めることができ、特に森林資源豊富な高山市においては林業活性化に資することができるが進捗率が低い。市の基本方針は。

**答** 第六次十箇年計画に基づき、土地利用効果の高いところや地籍調査が完了または実施中の箇所の隣接地、事業の協力が得られるところなどを地籍調査実施の基本方針としている。今後とも計画に基づき、必要性が高く効率的に実施できる地域から実施していく。

**問** 平成25年度の進捗率は13・1%と極めて低

い。現在実施している各地域の進捗率はどうなっているか。

**答** 国府町61・3%、朝日町33・0%、丹生川町27・5%、久々野町13・6%、上宝町3・7%、清見町2・1%である。

**問** 山村境界基本調査は地籍調査の必須要件か。直接地籍調査に入った方が進捗していくのではないか。

**答** 必須要件ではないが国県の限られた予算の中で地籍調査の工程の一部を先行して行うことができ、有効的な手段なので今後とも活用していく。

**問** 高山市の調査メニューは直営型か外注型か。また1km当りいくらくらいかかるのか。

**答** 外注型で1km当たり

約2,300万円となっている。

**問** 境界の事前確認にかかる人件費、杭代、伐採にかかる経費は公費負担にならないのか。

**答** 事前に地元の方々が自主的に活動する人件費等は支出できない。

#### マイマイガ対策について

**問** マイマイガによる今年度の林・農産物への被害はあったのか。

**答** 一部の地域で一時的に樹木の葉が食害にあったが、樹勢はおおむね回復しており、被害は今のところ見受けられない。

#### 公共施設の夜間使用中止の影響は。

**答** 夜間使用を予定していた団体は休日の昼間や平日の夕方に、各種スポーツ大会については時期を9月以降に変更される団体はあったが、全体としては大きな支障やトラブルはなかった。



溝端 甚一郎 議員

### まちづくりは高齢者から！

#### 高齢者のまちづくりへの参加について

**問** 高齢者の生きがいと能力の活用は。

**答** 年を重ねられても長年培われた知恵や技術を様々な分野で活かしていただきたい。まちづくりへの参画についても、経験や能力を活かす体制の整備を進める。

#### 能力を引きだせる指導はできないか。

**答** 団体の活動を紹介し、加入を促進するとともに、様々な団体に対して高齢者の能力を活用していただくよう働きかける。

#### 生きがい、奉仕活動などアンケートを実施できないか。

**答** 昨年、老人福祉計画・第6期介護保険事業計

画の策定に向けてアンケートを実施した。「生きがいがありますか」の問いに対し、八割の方が「はい」との回答があった。

#### 地域通貨を発行できないか。

**答** ボランティア活動には自主性・無償性・公益性がある。元気な高齢者を支援するために、仕組みの検討を進めていきたい。

#### シルバー人材センターの事業の内、ボランティアの活動は。

**答** 山王福祉センター敷地内の植栽の剪定や、手筒花火大会終了後の会場周辺の清掃等行っている。

#### 人材を地域活動の中で活かさないか。

**答** 豊かな経験や知識を活かした自主事業を

実施しており、各地域への拡大の機会の創出などについて検討したい。

**問** シルバー人材センターの今後の方向は。

**答** 多様化する市民ニーズに対応し、地域に密着した新規事業の掘り起しにも積極的に取り組んでいきたい。

#### 企業誘致について

**問** 企業誘致の進捗状況は。

**答** 企業訪問により、企業の現状や今後の展開、要望などの把握に努めている。

**問** 企業誘致の予定地を地域で活用できないか。

**答** 活用することは可能であり、内容や期間など協議をしていただきたい。

